

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立津山東中学校

教育目標(めざす児童生徒像)		今年度の指導の重点
<p>笑顔があり元気な学校 教育目標</p> <p>自ら学び、考え、行動する 生徒の育成</p> <p>②心身ともに健やかな生徒 の育成</p>	<p>目指す学校</p> <p>落ちついた学習環境</p> <p>②生徒の夢・目標の達成を支援する学校</p> <p>自他の人権を尊重する学校</p> <p>活力があり、魅力ある学校</p>	<p>目指す生徒像</p> <p>自分の夢を持ってその夢の実現に 向けて日々努力する生徒</p> <p>②信じ合える友達と互いに磨き合って 成長していく生徒 「切磋琢磨」</p>
		<p>あいさつ・そうじ・時間を守るの徹底</p> <p>キャリア教育を視野に入れた学校</p> <p>落ち着いた教育環境の創造</p> <p>校内研究、研究主題</p> <p>「協同的な活動・学習を主体的に取り組む環境づくり」</p>

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】	【学習状況調査の結果】
<p>全国</p> <p>国語A、B、数学A、Bともに県平均と比べて正答率は低い。 国語Aの漢字・基礎的知識等の基礎学力はついている。 国語Bは2極化が起きている。 自分の考えや理由を説明することが苦手である。 じっくり考えて解く問題は正答率が低い。</p> <p>県</p> <p>基礎知識・漢字の読み・書きはよくできている。 用語の使い方に関する問題が正答率が低い。 文章で説明したり、理由を答えたりする事が苦手である。 無回答率が高い。 「図形」活用の問題が正答率が低い。 社会的事象に対して興味が低い。</p> <p><主な問題別正答率></p> <p>・国 漢字の読み 校内94.7% 県92.7% ・数 数と計算 校内87.9% 県81.4</p> <p>・社 我が国の国土と地域の様子 校内41.1% 県41.9% ・理 魚の誕生(生命地球) 校内93.1% 県93.2%</p>	<p>読書に対する関心は高く、読書もしている。 国語や数学の学習は好きという生徒が多く、役に立つと考えているが、わからない、難しいと感じている。 テレビや携帯電話、インターネット等の時間がかなり長い。 家庭学習ができていない。(特に予習、復習) 大人に認められていないと感じており、達成感や自己肯定感が低い。 規範意識(人との関係づくり、優しい気持ちをもつ)が低い生徒の割合が高い。 最後までじっくり考えて解くことが苦手。難しいとすぐあきらめてしまう生徒が多い。</p>

成果と課題	課題に対応した改善方法
<p>成果</p> <p>小学校で漢字の読み書きの基本については繰り返し、小テストなどで定着を図っているため正答率は高くなっている。 朝読書を実施しているため、読書をする習慣がついている生徒の割合が高くなっている。図書館や図書室の利用も多くなっている。</p> <p>課題</p> <p>知識・理解の力が低いため、活用の得点に結びつかず、無回答率が高くなっている。 普段のテレビ、ゲーム、携帯の時間が長い生徒は、家庭学習の時間も少なくなるため、正答率が低い。 話し合う活動を通じて自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しいと感じており、文章で表現したり、説明したりする問題の正答率が低い。</p>	<p>作文・漢字等、やりきらせる、やりぬくような課題や教材を与えていく。 協同(ペアやグループ)学習を取り入れ、話し合い活動などで自分の考えを他の人へ説明したり表現したりする場面を増やしていく。 学校生活や行事の中で感想を書いたり、振り返りの機会を設け、「書く」習慣をつけていく。 放課後学習を取り入れ、基礎学力の定着をつけさせるとともに、学習習慣をつけていく。 ミニ学習を充実させ、基礎基本の定着を図る。また、わかる、できる経験を通して、やる気や自己肯定感をもてるようにする。 難易度の高い問題を提示、配布し、自主的に取り組める環境をつくる。できたときには、しっかり認めてやり、達成感を感じられるようにする。 シラバスを充分に活用し、家庭学習について生徒への啓発を行うとともに、保護者へも協力を求めていく。</p>

取組の検証方法及び検証時期	達成目標(数値目標)
<p>授業評価シート、振り返りカードを計画的に活用する。(随時)</p> <p>生徒及び教員へのアンケートの実施(学期末)</p> <p>朝学習(ミニ学習)のテストの実施(学期ごと)</p> <p>中2に学力定着状況たしかめテストの実施(2学期)</p> <p>校内研究授業の研究協議で検討(学期1回)</p>	<p>家庭学習の時間が1時間以上の生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>自分に良いところがあると感じる生徒を75%以上にする。</p> <p>最後まで解答を書こうと努力する生徒の割合を県平均と同等にする。</p>